

日台観光推進協議会

NEWS RELEASE

令和5年9月8日
日台観光推進協議会事務局
公益社団法人日本観光振興協会
交流促進部門 担当:大須賀・近藤
TEL 03-6435-8334 Email: summit@nihon-kankou.or.jp

一般社団法人日本旅行業協会
海外旅行推進部 担当:千葉・稲田
TEL: 03-3592-1274 Email: jotc@jata-net.or.jp

双方向交流の持続的発展にむけて 「2023 日台観光サミット in 愛知」を開催しました

日台観光推進協議会（会長 山西 健一郎、事務局：公益社団法人日本観光振興協会・一般社団法人日本旅行業協会）は、台湾側のパートナーである台日観光推進協議会（会長 葉菊蘭、事務局：財団法人台湾観光協会）と「2023 日台観光サミット in 愛知」を9月8日（金）に愛知県において開催し、持続可能な観光と双方向交流の発展にむけて ①環境保全を前提とした輸送能力の早期回復 ②人手不足や人材育成等の課題への協力 ③質的向上による観光消費額の拡大 ④需要の分散によるオーバーツーリズムへの配慮などを軸とした日台観光サミット・愛知宣言に合意しました。

「日台観光サミット」は、台湾からの訪日旅行・日本からの訪台旅行双方の促進と相互交流人口の拡大を目標として、平成20（2008）年に日台双方の旅行業界の経営者や観光業界のトップが集い、第1回の会議を台湾の台北市で開催しました。その後、日本と台湾で交互に開催され、本年が14回目の開催となりました。

今回は2024年に台湾の高雄（たかお）市で開催される予定です。

会議の概要については、別紙をご覧ください。

- <別紙1> 「2023 日台観光サミット in 愛知」開催概要、愛知宣言、サミットの様子(写真)
<別紙2> これまでの日台観光サミットの概況と日台間双方向交流人口の推移

「2023 日台観光サミット in 愛知」開催結果概要

1. 日時 2023年9月8日(金) 8:30~12:00
2. 場所 名古屋観光ホテル 3階 那古の間
3. 主催 日台観光推進協議会・台日観光推進協議会
4. テーマ 「日台の緊密な連携と持続可能な観光の実現にむけて」
5. 主な出席者

<日本側>

山西健一郎 (日台観光推進協議会会長・日本観光振興協会会長)
本保 芳明 (観光庁参与)
花井 郁子 (日本台湾交流協会総務部長)
伊与田美歴 (日本観光局理事)
金子 正志 (中部運輸局長)
大村 秀章 (愛知県知事)
高橋 広行 (日本旅行業協会会長)
ほか、地方自治体・観光協会、観光業界、旅行関係者等 100名

開催地 愛知県関係者 40名

<台湾側>

葉 菊蘭 (台日観光推進協議会会長・台湾観光協会会長)
謝 長廷 (台北駐日経済文化代表処代表)
林 信任 (交通部観光局副局長)
洪 英傑 (台北駐大阪経済文化弁事処処長)
鄭 憶 萍 (台湾観光協会東京事務所長)
ほか、台湾側観光業界、旅行関係者、運輸機関、メディア等 70名

日台合計 210名

6. 日台観光サミット愛知宣言(日本語)

日台観光サミット 愛知宣言

日台観光推進協議会(台日観光推進協議会)は2023年9月8日、日本・愛知県において「2023日台観光サミット in 愛知」を開催し、「日台の緊密な連携と持続可能な観光の実現」について議論を行った。

その結果、日台双方は「持続可能性」を念頭に置いて2025年の相互交流人口を2019年水準である700万人に戻すことを目指し、より緊密な連携・協力を図ることで一致した。

具体的な施策として、環境保全を前提とした輸送能力の早期回復や、双方における人手不足や人材育成の課題解消に向け、お互いの取り組みの共有を図ることに努める。あわせて、訪問者数等の量の重視だけでなく、旅行商品の高付加価値化や地方誘客を通じた質的向上による観光消費額の拡大や、需要の分散によるオーバーツーリズムへの配慮など、日台双方が持続可能な取り組みを深化・促進させ、観光交流の永続的な発展を実現することとする。

次回の「日台観光サミット」は、台湾・高雄市で開催することに合意し、日台双方の観光産業界の絆を更に強くして、観光交流の更なる活性化に取り組んでいくものとする。

2023年9月8日

日台観光推進協議会
公益社団法人日本観光振興協会
会長 山西健一郎

台日観光推進協議会
財団法人台湾観光協会
会長 葉 菊蘭

7. 日台観光サミットの様子



※愛知県主催 歓迎セレモニー、歓迎晩餐会の様子



これまでの日台観光サミットの概況と日台間双方向交流人口の推移

1. 開催のきっかけとこれまでの経緯

日台観光サミットは 2008 年に当時約 250 万人だった日台間の双方向交流人口を 300 万人に拡大することを目指し、台北市で初めて開催された。2013 年に目標を達成した以降も順調に伸長し、2019 年「日台観光サミット富山宣言」では、2020 年までに 800 万人の実現を目指すとしたが、2020 年以降、新型コロナウイルス感染症拡大により海外渡航者数は大きく落ち込んだ。

昨年 3 年ぶりに台湾・桃園市で開催した「2022 日台観光サミット in 桃園」では、早期に本格的な観光交流の再開を促し、より緊密な連携・協力を図り、コロナ禍以前の延べ 700 万人までの回復を目指すことで一致した。

2. これまでの日台観光サミットの開催状況について

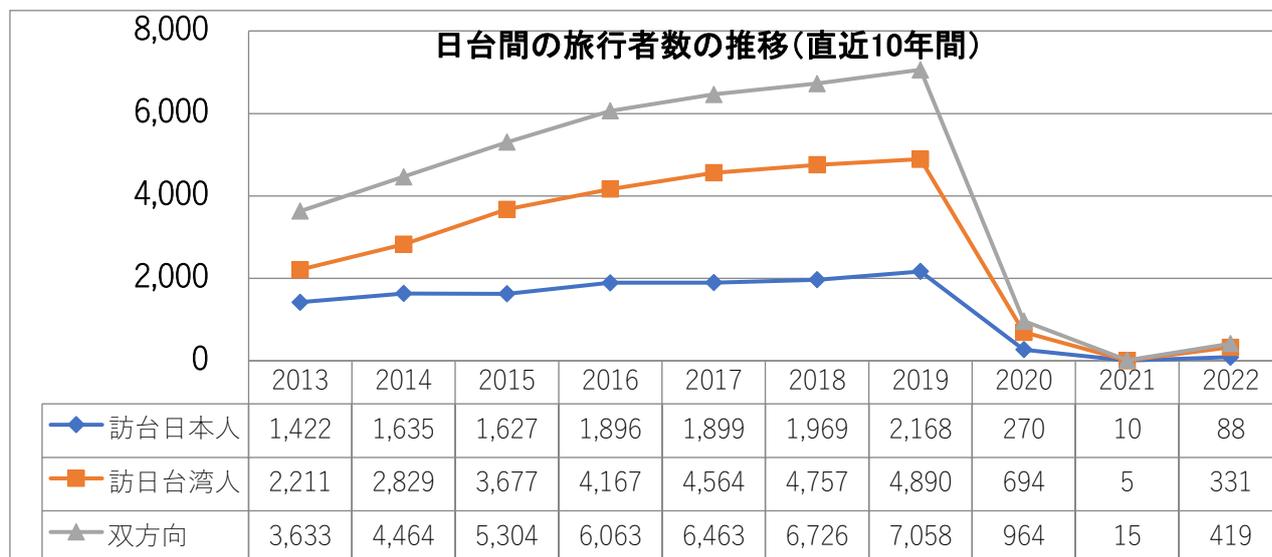
<台湾開催>

第 1 回	・ 2008 年 3 月	台北市
第 3 回	・ 2010 年 3 月	南投県
第 5 回	・ 2012 年 7 月	花蓮県
第 7 回	・ 2014 年 5 月	屏東県
第 9 回	・ 2016 年 5 月	宜蘭県
第 11 回	・ 2018 年 5 月	台中市
第 13 回	・ 2022 年 9 月	桃園市

<日本開催>

第 2 回	・ 2009 年 3 月	静岡県
第 4 回	・ 2011 年 7 月	石川県
第 6 回	・ 2013 年 5 月	三重県
第 8 回	・ 2015 年 5 月	山形県
第 10 回	・ 2017 年 5 月	四国
第 12 回	・ 2019 年 5 月	富山県
第 14 回	・ 2023 年 9 月	愛知県

3. 日台間の双方向交流人口の推移（単位・千人）



●2023 年 1～6 月

訪台日本人数： 324 千人（2019 年度比 33%）

訪日台湾人数： 1,770 千人（2019 年度比 71%）

双方向： 2,022 千人（2019 年度比 61%）

※台湾→日本の統計については、日本政府観光局（JNTO）の統計による

※日本→台湾の統計については、台湾交通部観光局の居住地別統計による